



公立高校の入試に向けて2

1月に始まった私立高校の入試も本日で一次入試がすべて終わりました。今回多くの子どもたちが初めての高校入試を経験したと思います。やはり、実際に自分で入試というものを受けてみないと会場の雰囲気やその緊張感には分からないものです。私立高校の入試で少しは緊張が解けたのではないのでしょうか。さて、あと一ヶ月ほどで公立高校の入試が行われます。子どもたちも受験勉強に尚一層力が入ってくると思います。そこで、面接練習の中で子どもたちに質問していることの一つに、「今、受験勉強をがんばっていると思いますが、勉強をするとき何か工夫していることはありますか。」というのがあります。なかなか難しい質問ですが、たとえば、「テストの時間に合わせて、50分ごとに休憩を入れながら勉強しています。」「一度解いた問題を数日後にもう一度解いてみて確認をしています。」などなど、いろんな答があると思います。その中で、得意科目と不得意科目の勉強の仕方について答えるパターンがあります。子どもたちは「どっちにより多くの時間をかければいいですか?」と聞いてきますが、これがいいという絶対的なものはないように思います。極端に片方だけに時間をかけてしまうのはよくないと思いますが、これから残された時間を考えると、得意な科目、より確実に点数を取れる科目に重点を置いた方がよくないでしょうか。難しい問題や苦手教科の場合、

得意



不得意



長い時間をかけてもなかなか答にたどり着かないこともあり、時間ばかりが過ぎていき焦りにつながる場合があります。ですから、得意な教科、基礎的な問題、短時間で答にたどり着ける問題に多めに時間を割いてはどうでしょうか。そうすれば、テストの時によくある「うっかり間違い(ケアレスミス)」も防げるようになるのではないのでしょうか。とはいえ、不得意教科、難しい問題に全く手をつけないのも不安になります。一日、一週間、一ヶ月といった時間の中でうまくバランスをとって勉強を進め、入試当日、自信を持ってテストに臨めるようになってほしいと思います。

面接試験に向けて2

前号に引き続き、面接試験に向けてということで・・・面接の中で必ず質問されることは「志望動機」です。なぜその学校を選んだのか、なぜその学科を第1希望にしたのかなど、面接の中で必ず質問されます。答え方はいろいろあると思いますが、大切なのはその学校、その学科で学ぶ内容と自分の将来がどのように関連しているのかをはっきりと話すことです。たとえば、①「自分は将来、建物を設計したり建てたりする仕事に就きたい」ので「建築科」を志願しました。②「私は高等学校卒業後、国公立大学への進学を希望しています。」だから「普通科・進学コース」を志願しました。③「私は将来、公認会計士になることを目指しています。」だから「商業科・会計ビジネス科」を志願しました。このように、自分が高等学校で何を学び、何を身につけ、自分の将来にどのように生かしたいのかをまとめておく「志望動機」をしっかりと話すことができると思います。前回も書きましたが、まずは質問に対する答を簡潔に述べ、その後自分の考えを詳しく話していけばいいと思います。まずは落ち着いて・



落ち着いて

ゆっくりに